

カルメル

霊性センターニュース



2025年5月

419号

目次

目次	1
心の泉	2
カルメル会の企画案内	2 2
東京	2 3
京都	2 5
名古屋	2 7
諸所の企画案内	2 8
霊性センターニュース郵送終了のお知らせ	3 2

心の泉



宇治カルメル会修道院



第四巻 聖体拝領への信心の勧めはここにはじまる

第九章 自分と自分のすべてを神に捧げ、すべての人のために祈る

1 子

《主よ、天にあるもの、地にあるもの、すべてはあなたのもの(歴代誌上 29・11 参照)。

私自身を自由に献げ、永久にあなたのものとなることを私は望みます。主よ、^{しんし}真摯な心で、今日、永久のしもべ、また、いけにえとして、永遠の光栄の献げものとして、私自身をあなたに献げます。目には見えなくても、ここにあずかる天使たちの前で、尊いおんからだのいけにえと一致して、私をお受けください。このいけにえが、私とすべての人々の救いとなりますように。

2 私の罪を献げます！

主よ、あなたのあがないの祭壇の上で、私がかつて罪を犯しはじめた日より今に至るまで、あなたと聖なる天使たちの前で犯したすべての罪と過失とを献げます。あなたは愛の火でそのすべてを焼き尽くし、私の汚れを清め、ゆるしを与え、平和の接吻であわれみ深く私を迎え、罪によって失われた神の恵みを再びお与えください。

3 深く痛悔します

謙虚に告白し、ゆるしを願いながら涙を流し、その罪をゆるしてくださるようと切に願う以外に、私に何ができるでしょう。私はみ前にひれ伏して乞い願います。ああ私の神よ！私は犯した罪を心から痛悔し、もう二度と犯さないと決心します。この罪を生涯にわたって後悔し続け、できるかぎり償いをする覚悟です。おゆるしください、私の神よ。聖なるみ名のために、私の罪をゆるしてください。尊いおん血によってあがなわれた私の魂を救ってください。私はあなたにより頼みます。私の悪意と罪とによるのではなく、あなたのいつくしみによって私を扱ってください。

4 すべてを献げます

不完全で粗末ではありますが、私のもっているすべてのものを献げます。あなたはこれを清め、聖化し、あなたの喜びにふさわしいものとし、ますます完全なものにし、役に立たない怠け者の私を、栄光ある幸せな終点まで導いてくださいます。

5 隣人の必要性

それゆえ、信徒、および私の両親、友人、兄弟、姉妹、すべての恩人の必要、私の愛する人々、あなたへの愛のために私に、またほかの人のために善をおこなった人々、最後に私に祈りとミサとを願ったすべての人々——まだ生きている人も、もうこの世を去った人も——彼らのすべての願いをあなたに献げます。皆があなたの恵みの助けと安らぎ、危険の時には保護、苦痛の時の解放を味わうことができますように。そしてまた、彼らが悪から解放されて、大きな喜びをもって、あなたにまごころからの感謝を献げることができますように。

教皇フランシスコは88年にわたる人生の旅路を終え、御父のもとへと旅立たれました。(以降、「*」は帰天後ローマ教皇庁公表の「2022年6月29日付フランシスコ教皇の遺書」からの抜粋)



「*地上での生涯のたそがれが近づいているのを感じながら、そして、永遠の命への確かな希望を抱きながら」、教皇はローマ市内のサンタ・マリア・マッジョーレ大聖堂に埋葬するよう望まれていました。わたしたちは愛といつくしみに満ちた力強い牧者、『希望の巡礼者』についていきましょう。

「*自らの人生と司祭職・司教職を、常に主の御母聖マリアにゆだねてきた」教皇は、「*教皇付大聖堂サンタ・マリア・マッジョーレに葬られ、復活の日を待つことを希望し」、最後の旅がまさにこの古代の聖母巡礼聖堂で終わることを希望されていました。教皇は、「*大聖堂にすべての司牧訪問の始めと終わりに祈りのために訪れ、自らのこの意向を信頼をもって無原罪の聖母に託し、その従順な、母なる配慮に感謝してきた。」と言及されています。

テレーズ列聖 100 周年 信頼の道を行く

マリアよ！あなたのすぐそばで
私も小さいままで とどまりたい
地上の偉大さは すべてむなしい
あなたが訪問された エリサベトの家で
私も温かい愛を行うことを学びます

*テレーズの詩『なぜあなたを愛するのか、おおマリア！』



「わたしの希望、キリストは復活された！」
移り変わる天気、様々な出来事・・・日々の生活の中で、また今日も、
慈しみ深い父である神の愛をさらに深く信じてことができますように。



伊従 信子 (いより のぶこ)
ノートル・ダム・ヴィ

フランシスコ教皇の言葉⑬

平和は女性から生まれます。平和は母の愛の中から生まれ、母の愛によって再び力を取り戻すのです。

「平和は女性から生まれます」という言葉には考えさせられます。そこには「戦争や争いは、男性から生まれます」という意味が含まれているように思われるからです。男性は強い者に憧れ、人と競走し、人より優れた者、ヒーローとなることを夢見ます。勝ち負けやだれが上か下かにこだわるのは、男性に特有のようにも思われますが、女性でも男性のように考える人はいくらでもいるので、教皇様はこう言い直されたのでしょうか。

「平和は母の愛の中から生まれます」。単に女性であるだけでなく、子供を産み育てる母の愛は、男性にはまねができないように思われます。母親は、生まれた子供たちを、その子供が優れていようがまいが、自分の子供であるという、ただそれだけの理由で愛することができるのです。それに対し、父親は、どちらかと言えば、子供たちの能力を比較し、道徳的な観点から見ているように思われます。　　極端な話、殺人犯の息子を赦し、無条件に受け入れることができるのは、父親ではなく母親ではないでしょうか。絶望のどん底にいる彼は、「母の愛によって再び力を取り戻すのです」。

(P. 九里)

P.S. 「フランシスコ教皇の言葉」(①～⑫)は、カルメル会のHPの「霊性センターニュース」に掲載されています。「霊性センターニュース」とクリックしてください。

十字架の聖ヨハネのこぼれ話（201）

ホセ・ヴィセンテ・ロドリゲス o.c.d.

諸徳によって築かれる(3)

後ほど、愛をもってすべての活動や信心行を評価することにより、人間的な価値に、いわゆる対神的な価値をどのようにつけ加えていかねばならないかを見ることにしましょう。このような見方をさらに広げたいと望む人は、きわめて崇高でストイックな香りのする十字架の聖ヨハネの著作のいくつかの箇所を読むならば、新たな力を得ることができるでしょう。ここでは、平和や静けさや靈魂の安らぎ、どんなことに対しても落ち着いたおだやかな心などが語られ、さまざまな出来事や事柄における心の平安について述べられています（3S6, 3）。

人間的なことの深みと高み(1)

私はまず最初に、十字架のヨハネのより真実の人間性を知るために、人間に関する聖人のふるまいについて、それから聖人に関する人間のふるまいについて話をしました。

少し前、私の知っている精神科医の一人が、こう言いました。「人間性に関して孤児である人は、結局のところ、生きのびることはできない」と。十字架のヨハネは、たくさん事柄やたくさんの試練、すなわち牢獄や侮蔑や最後の迫害のただなかで生きのびました。それは、彼の偉大な人間性によって生きのびたのです。

彼の偉大な人間性によって築かれた聖性については、彼の生涯に関する証人たちは、こう言っています。「彼は落ち着いていて、ぎすぎすしていません、柔弱さはありませんでした」。「彼はとても愛そうよく、だれとでもほがらかに接していました」。「彼はとてもおだやかで落ち着いていました」。「彼の話し方やふるまい方は、おだやかで気持ちの良いものでした」。

（続く）

P. 九里訳

復活節第3主日（C 年）

（ヨハネ 21：1－19）

今日の福音箇所はヨハネ 21 章 15-19 節のイエスとペトロのやり取りは面白い箇所です。イエスは初めペトロに「ヨハネの子シモン、あなたは人々以上私をアガペーの愛で愛しているか？」と問い、それに対してペトロは、「はい、主よ、私があなたをフィリアの愛で愛していることは、あなたがご存じです」と答えました。次にイエスはペトロに、「ヨハネの子シモン、私をアガペーの愛で愛しているか？」と問い、それに対してペトロは、「はい、主よ、私があなたをフィリアの愛で愛していることは、あなたがご存じです」と答えます。3 度目にイエスは、「ヨハネの子シモン、私をフィリアの愛で愛しているか？」と問い、ペトロは、「主よ、あなたは何かもご存じです。私があなたをフィリアの愛で愛していることを、あなたはよく知っておられます」と答えます。

日本語訳だけでは掴めませんが、ギリシャ語で見ると、イエスが徐々にペトロに合わせてアガペーからフィリアに近づいている様を見ることができます。

ヨハネ福音書において、アガペーとフィリアは意味の違いは特になくとも言われていますが、この箇所においては意味の違いがあるとしてもいいと思います。なんとなく、あえて使い分けているような気がします。この箇所は 21 章で、後代の付け足しと一般的に見做されており、1-20 章までの語の使い方と違っていてもおかしくないでしょう。1-20 章ではイエスはフィリア、友愛を特に重要視し、アガペーとフィリアで意味の違いがあるようには思えないようにも思えますが、21 章では、神である人間イエスが、ご自身から遜って友となって下さったということを、このようなダイナミズムで示しているのかもしれませんが。

いずれにしてもイエスとのフィリア、友愛を生きるには、ペトロのように、三度イエスを裏切った上でもなお、イエスが私たちとの友愛を諦めず、イエスの問いと私たちの信仰告白を通して傷を回復し、友愛を生きさせてくださっているという想起と自覚が土台にあるのだと聖書は私たちに教えているとみることもできるでしょう。

（志村）

復活節第4主日（C）

（ヨハネ10：27－30）

「わたしの羊はわたしの声を聞き分ける。わたしは彼らを知っており、彼らはわたしに従う。わたしは彼らに永遠の命を与える。彼らは決して滅びない。」

第4の福音書で、聖ヨハネは非常に意味深い聖書の言葉を使っています。例えば、「私は生命のパンである」、「私は世の光である」、「私は復活であり、生命である」「私は真のぶどう酒である」、「私はよい羊飼いです」等々。これらの言葉は神の姿、憐れみ深いイエスの姿を暗示しています。

よい羊飼いの主日として知られている復活節第4の主日は、「召命のための世界の祈りの日」です。本日の福音は四つの言葉からなる非常に短いものですが、深い意味を持っています。よい羊飼いとしてイエスは羊を知り、愛し、世話をします。羊飼いと羊の関係は非常に親密で天の御父と御子との関係の延長です。「わたしの羊はわたしの声を聞き、わたしについてくる」というイエスの言葉をわたしたちは聞きます。ヨハネの福音のこの一節で、イエスは「よい羊飼いです」というご自分の神の称号を話しました。羊は羊飼いの声を聞き分け、それは他の人よりその羊飼いに従い続けているからです。私たちも日常生活の中で聞こえてくるイエスの声を見分けることが大切です。

私たちの「よい羊飼いです」であるイエスはご自分の羊のために極みまで命を与え、人類のために十字架で死にました。「よい羊飼いです」は世界の罪を取り除くために「神の子羊」となりました。羊飼いとしてのイエスは深い意味でご自身への約束と責任を示しています。他者の幸福に関わりを持つ私たちの愛する指導者です。彼らの間にはお互いに理解と愛があります。この愛と親密さのお互いの絆は度々イエスと御父との間のお互いの関係性に比較されます。羊飼いは羊を知り、羊はその羊飼いを認めます。

私たちの「よい羊飼いです」は常に私たちの前を歩みます。たとえ耳しか聞けないとしても心が開いていれば、絶望から希望へ、暗闇から光へ、死から生命へ、私の名前を呼んでくださる彼の声をきくと聞くことでしようと信頼すべきです。

(Sr. Paulina)

復活節第5主日

(ヨハネ13：31-33a、34-35)

今日のみことばですが、幾つかの内容に分かれています。はじめに最後の晚餐を終え、イエスを裏切るユダがイエスと他の弟子たちの元から出て行き、イエスが栄光について語られます。イエスがお語りになられた「栄光」とは、ご自身の受難による栄光です。イエスの受難によって、父なる神から人の子が栄光を受ける…。すなわち神が人の子に栄光をお与えになり、神も人の子によって栄光をお受けになる。それは人の子から神に栄光が帰せられて、その栄光の頂点が、イエスがお受けになられた十字架なのです。

父なる神は、私たちを愛し、ご自分の愛する独り子をこの世に遣わして下さいました。目に見えない神の「みことば」が人となり、私たちの救いのためご自身の生命を捧げて下さいました。この世に来られた神の子イエスは、ご自分を捧げて父のみ心を行われ、私たちへの愛を示して下さいました。

その後イエスは「いましばらく、わたしはあなたがたと共にいる。」と語り、その後の弟子たちとの別れを暗示して、それから弟子たちに「あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。」と言われます。互いに愛し合うということは、古くから昔から人が普通に行ってきたこと、行われてきたことでしょう。しかしそのことに留まらず、イエスは「わたしがあなたがたを愛したように」と言われます。神であることに固執をせず、神でありながら人となられ、十字架につけられて、ご自分の生命を捧げるほどに私たちを愛して下さいましたのです。

聖書の福音書の中には、イエスが人を愛される具体的な場面が沢山語られています。悪霊を追い出し、病氣や患いを癒され、時には律法の規定では汚れるとされる様なこと、病人に手で触れることもなされ、ユダヤ人が交際しないサマリアの女に語り掛けたり、異邦人の女性の願いに応じてその女性の娘を癒されるなど、多くの箇所がありますが、その頂点が十字架上でのご死去で、そのイエスがまことに復活されたのです。

復活節、イエスの復活を喜び祝い、神を讃え賛美しながら、神が行われた偉大な業を思い起こし、イエスが人々を愛された姿を想い、イエスに倣い、互いに愛し合いながら歩みましょう。「互いに愛し合うならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる。」とイエスが言われたように、私たちも愛のうちに生きることによって、イエスの弟子として愛を告げ、証ししてゆくことができますように。

(Fr. 古川利雅)

復活節第6主日（C）

（ヨハネ 14：23－29）

「わたしを愛する人は、わたしの言葉を守る。わたしの父はその人を愛され、父とわたしとはその人のところに行き、一緒に住む。」

主の昇天と聖霊降臨が近づいている今日の福音では、最後の晩餐での主の別れの言葉を読みます。ここには、優しさにあふれた別れの空気が満ちています。主は去ってしまいますが、私たちには平和と聖霊の継続的な導きを約束されています。

この箇所は、私たちの内に住まわれる三位一体の神の姿が描かれています。約束された聖霊は、私たちの教師であり、あらゆる善の源です。そして私たちに必要なことをすべて教えてくださる聖霊の到来という大きな希望と保証が与えられています。聖霊は教師ですので、キリスト者は全員生徒です。神をもっと深く理解し、イエスが私たちに語ったことを思い出させてくれる聖霊に応えなければなりません。イエスの言葉は私たちの人生の指針であるべきです。ですから私たちはその言葉を思いめぐらし、黙想し、そして日々の生活で実践する必要があります。聖霊は、私たちが正しく行動するのを助けるために絶え間なく働いておられます。

福音では、神の霊がどのように私たちの内に留まることができるのかを明らかにしています。私たちは主の言葉を守る必要があります、神の愛の掟に忠実であれば、三位一体の神が必ず共にいてくださいます。「父とわたしとはその人のところに行き、一緒に住む」からです。そして、御父が送ってくださる聖霊は私たちと留まり、平和・愛・喜びにあふれた真のキリスト者としての生活を送る手助けをしてくださいます。「あなたがたに平和」とは、復活した主からの大きな約束でした。聖霊は私たち一人ひとりだけでなく、キリスト教の共同体と教会全体をも導きます。

今日、復活した主の贈り物である愛と聖霊と平和、さらに最大の贈り物であるキリストの再臨の約束に、心から感謝しましょう。

(Sr. Paulina)

跣足カルメル修道会HP (International)

跣足カルメル修道会ローマ本部のホームページ <http://www.carmelitaniscalzi.com> の記事を紹介します。

<< Communications (時事通信) >>

2025年3月28日

公式声明： イエスの聖テレジアの顔の復元



2025年3月28日、イエスの聖テレジア生誕510周年

2024年8月28日、アルバ・デ・トルメス（スペイン）で、イエスの聖テレジアの遺体の身元確認と調査の長いプロセスが開始されました。この一連の行事は、5月11日から25日までの一般公開と、それに続く、墓地の閉鎖でクライマックスに達します。この機会に、キエティ・ペスカーラ（イタリア）“ガブリエレ・ダヌンツィオ”大学の、ルイジ・カパッソ教授、ルッジェロ・ダナスタシオ教授、ヤコポ・チッリ博士らの責任の下で、数多くの入念な検査が行われました。

収集した情報に基づき、跣足カルメル会総本部は、最新の技術を用いてアビラの聖テレサの顔を科学的に復元することを決定しました。この顔の復元（「近似」とも呼ばれる）は、ビクトリア法医学研究所（オーストラリア、ビクトリア州、モナシュ大学）の法医学彫刻家ジェニファー・マン氏によって行われました：

これは、現在米国と英国で使用されている法医学的手法を組み合わせたもので、キエティ大学から提供された人体測定データとX線写真に基づいています。写真はジェニファー・マン氏、ビデオはポール・バーストン氏によるものです。このアーティスト達は、以下のクレジットを保持し、これらの画像の出版および印刷を許可しました。写真は「ジェニファー・マンによる彫刻と写真」、ビデオは「ジェニファー・マンによる彫刻/ポール・バーストンによるビデオ」が、無断転載を禁じています。

間もなく、聖テレジアの胸像の複製が、オリジナルの寸法で、ブロンズ製または樹脂製で入手できるようになります。ご注文は、跣足カルメル修道会本部 列聖担当部長までご連絡ください。

P. マルコ・キエーザ, OCD
跣足カルメル修道会 列聖担当部長

（訳・注：小宮山延子）

いのちの言葉 5月

主よ、あなたは何もかもご存じです。
わたしがあなたを愛していることを、あなたはよく知っておられます。¹
(ヨハネによる福音書 21・17)

1

ヨハネ福音書のおわりの部分には、ガリラヤのティベリアス湖畔での場面が描かれています。ペトロ、ヨハネ、他の弟子たちは、イエスの死後、以前のように漁師をしています。その夜、一晩中漁をしたにもかかわらず何もとれませんでした。

復活したイエスが、弟子たちに姿を現されるのは今回で3度目です。イエスはもう一度網を打ちなさいと彼らを励まし、その通りにすると網は魚でいっぱいになりました。イエスは、「さあ、来て、朝の食事をしなさい」と彼らを岸辺に招かれますが、ペトロも他の誰も「あなたはどなたですか」と問う者はいません。それが誰であるか分かっていたからです。

その後、イエスの方からペトロに話しかけられます。イエスは真剣なまなざしで問われます。「ヨハネの子シモン、この人たち以上にわたしを愛しているか？」と。3度にもわたりペトロに「わたしの羊の世話をしなさい」²と語られるイエスの言葉には、厳粛な響きがありました。

主よ、あなたは何もかもご存じです。
わたしがあなたを愛していることを、あなたはよく知っておられます。

ペテロは、主を裏切ったのは他ならぬ自分だという深い悲しみに捕われ、イエスに対して素直に答えることができませんでした。ペトロは謙虚に「わたしがあなたを愛していることを、あなたはご存じです」と答えます。

イエスはペテロの裏切りを責めもせず、彼が犯した過ちを指摘することもなくペテロに優しく手を差し伸べます。イエスの温かい友情はペトロの深い傷痕を癒してくれるものでした。イエスがペトロに求められたのは、お互いの信頼を回復することだけでした。ペテロは、自分の弱さを認識するだけでなく、自分を受け入れてくださる主であり、師であるイエスに全き信頼をもって応えます。

主よ、あなたは何もかもご存じです。
わたしがあなたを愛していることを、あなたはよく知っておられます。

イエスは、私たちひとり一人にも同じように「私を愛しているか？ 私の友でありたいか？」と問われます。イエスはすべてをご存知です。私たちがイエスから頂いた賜物のことも、私たちの弱さや傷、癒されていない傷のことさえご存じです。イエスは私たちの強さではなく、その友情において私たちへの信頼を新た

にして下さるのです。この友情は、イエスへの愛のために命を捧げることをも厭わない勇気をベトロに与えてくれました。「だれもが弱さや挫折感、失意を味わい…… 逆境や苦しみ、病気や死、葛藤、無理解、誘惑、失敗を体験します。…… 肉体的・精神的な試練にであい、人は、それを自力で乗り越えられないと分かる時、そのすべてを神に委ねます。ご自身に対するいちずな私たちの信頼に惹き寄せられるように、神ご自身が介入してくださいます。神が働かれる時、偉大な業が成し遂げられ、まさにそれは私たちの『小ささ』から生まれてくるものなので、私たちの目にいっそう『偉大なこと』として映ります。」³。

日々、私たちはありのままの姿で神のみ前に立ち、癒しの友情を願い求めることができます。神の慈しみに信頼して身を委ね、神との親密な関係に立ち戻り、再び神との旅を歩みはじめることができます。

主よ、あなたは何もかもご存じです。

わたしがあなたを愛していることを、あなたはよく知っておられます。

今月のみ言葉は、常に神に信頼し、神の愛に感謝することを学ばせてくれます。自分の力の限界を認めながら私たちも神に個人的なお祈りをお捧げすることができるのではないのでしょうか。「…… 『愛します、あなたを』、胸の中に吸い込まれる空気のように、身体を流れる血潮のように、あなたはわたしの中に入って来られました。誰も入って来られなかったところに、誰も助けられなかった時に、誰も慰め得なかったその日に、あなたはやって来られました。…… ほんの少しではあっても、わたしの感謝の気持ちをお受け取りください。あなたが注いでくださったこの愛に対して、わたしに残されたいのちのあるかぎり、わたしは言いたいのです。『あなたを愛します』、と。」(キアラ・ルービック、「感謝の祈り」より)

家族、社会、教会の人間関係においても、私たちは、イエスの愛のお手本に倣うことができます。イエスはすべての人を愛し、ご自分から先に愛し、兄弟姉妹とりわけ最も小さく弱い人々の「足を洗われ」⁴しました。私たちもすべての人を謙虚に、忍耐強く受け入れ、裁くことなく、許しまだ許されながら、人生の同伴者として共に歩むすべを学ぶことができますでしょう。

主よ、あなたは何もかもご存じです。

わたしがあなたを愛していることを、あなたはよく知っておられます。

レティツィア・マグリと「いのちの言葉」編纂チーム

*いのちの言葉は聖書の言葉を黙想し、生活の中で実践するための助けとして、書かれたものです。

連絡先: フォコラーレ 東京 03-3330-5619/03-5370-6424 長崎 095-849-3812

E-mail: tokyofocfem@gmail.com ホームページ: <https://www.focolare.org/japan/>

¹ 日本聖書協会「新共同訳」

² マタイ 16・18-19 参照

³ キアラ・ルービック、2000年7月の「いのちの言葉」より

⁴ ヨハネ 13・14 参照

カルメル誌 新刊案内



2025年 春号 No.396

希望は欺かない Spes non Comfundit
二〇二五年の通堂聖年公布の大勅書
教皇フランシスコ ウィリー・ソバ

カルメルの外のカルメル
一教会の外から見られたアビラの聖テレジアと
十字架の聖ヨハネ(9) 鶴岡賀雄

この道はいつか来た道ー父なる神の家をめざして
伊従信子

祈りは、愛する神との信頼関係の生活です
ポーリン・フェルナンデス

陶器師の山暮らしの日々から
ラウダート・シニ神のいのちへの道(5) 椿 権三

風に吹かれて再び(11)ー生き方ー残すもの
原 造

キリストの説かれた 幸いなる道(13) 九里 彰

霊的研究会講義録(27)ー聖書・祈り・愛について
奥村一郎



2024年 四旬節特別号

「わたしたちを愛に導くのは信頼、ただ
信頼だけです」(聖テレズのメッセージ)
聖テレズ生誕 150 周年記念 教皇
フランシスコ使徒的勸告「信頼」に導かれて

わたしは愛になりましょう 一愛の道を飛んでいくために 今泉 健

詩「むしられたバラ」より 一テレジアの愛の道 九里 彰

テレズの信頼の道・小さい道と
ヤコブ・イスラエルにおける小さい道 志村 武

現代の闇を照らす灯火 一テレズの進行の試練 片山 はるひ

小さな 偉大さ 伊従 信子

ご案内 1 冊 580 円 A5 サイズ 50～70 ページ

サンパウロ・ドンボスコ書店・イグナチオ教会案内所・上野毛教会信徒ホール本コーナー・
各カルメル会黙想の家 他にてお求め下さい

●送付ご希望の方は、1 冊 580 円 (+送料 140 円) を下記へお振込み下さい

●年間での継続送付ご希望の方は、年会費 (年 5 冊：春夏秋冬+特別号 計 3,600 円) を
下記へお振込み下さい

郵便振替:00190-4-195457 跣足カルメル修道会

●お問い合わせは、事務担当：内田幸子宛に上野毛修道院へ手紙かファックス、又は e-mail で。

〒159-0093 世田谷区上野毛 2-14-25 Fax: 03-3704-1764

E-mail: carmelshi.jimu@gmail.com

新刊紹介

聖マリアとともにイエスのいのちを生きられた ニコラオ・プレシエル神父の講話 II ロザリオの祈り



Chrysostomus
小野崎良子 編

中川博道師
(カルメル会)
《推薦》

教友社定価 (1,500円＋税)

聖母マリアは、「イエスを愛し、信じて生きるキリスト者の典型・模範」です(教会憲章 53 番)。ニコラオ師はロザリオを通して、日々私たちが、イエスの神祕をマリアとともに生きる道をわかりやすく説明してくださいました。

ロザリオの祈り

聖マリアとともにイエスのいのちを生きられた
ニコラオ・プレシエル神父の講話 II

【出版社】 教友社

【著 者】 小野崎良子：編

価格 1,650 円 (税込)

品番/ISBN: 9784907991807

発売/発行年月: 2022 年 3 月

判型: A5

ページ数: 184

「ニコラオ神父様が、ロザリオの祈りを捧げながら歩いているときに、突然十五の玄義の流れが鮮明に示され、ご自分の中でまとまったその内容をわたしたちに語られました」(「はじめに」より)。ニコラオ師亡き後、師の薫陶を受けた信徒たちによって記録された講話が 1 冊の本に。中川博道師(カルメル会)推薦。

小野崎 良子(おのざき・りょうこ)

1950 年夕張市大夕張の炭鉱の町に生まれる。小学 4 年生の時、「クリスマスにはプレゼントがもらえる」という級友の誘いに乗り、高校卒業まで熱心にカトリック教会に通う。その後地元を離れ旭川の学校に進学。青春を謳歌する日々の中、ふと感じた「空虚さ」を確かめるために再度教会(大町教会)を訪ねる。そこでニコラオ神父様に出会い受洗にいたる。

39 年間の教職生活を終えた後、ラジオで流れたキャロル・サック宣教師の歌とハーブに触発され、日本福音ルーテル社団主催「リラ・プレカリア(祈りのたて琴)研修講座」にて 2 年間の養成を受ける。現在は求めに応じて、病床にある方、高齢者などを訪問し歌とハーブによる祈りをお届けしている。

ニコラオ・プレシエル神父

1921 年、(旧)チェコスロバキアに生まれる。1940 年、ドイツ軍無線通信兵として従軍。

1946 年、フランシスコ会に入会(ドイツ・フルダ管区)し、1952 年、司祭に叙階される。

1953 年、来日。1956 年、カトリック名寄教会着任。以後、美唄教会、大町(旭川)教会、枝幸教会、稚内・枝幸教会、富良野教会にて司牧。

2001 年以後、フランシスコ会札幌修道院、月形町藤の園にて療養する。

2007 年 1 月 6 日、月形町藤の園にて帰天(85 歳)。



『十字架の聖ヨハネの霊性』

フェデリコ・ルイス師の講話
〈十字架の聖ヨハネ・霊性神学研究の第一人者〉

著者：フェデリコ・ルイス

訳者：九里 彰

判型：B6 判並製

ページ数：184 ページ

価格：本体 1,600 円+税

ISBN：978-4-8056-3918-4 C0016

発行：サンパウロ

スペインで「詩人の守護聖人」と称される十字架の聖ヨハネは、日常生活の中で神との親密な関係を生き、キリストと、隣人との愛の交わりを生きた聖人でした。自身の神体験を詩で表し、自らそれを解説し、著作として残しています。彼は決して近寄り難い人物だったわけではなく、バランスの取れた温厚な人でした。

インターネットや AI が発達する、「霊性の時代」といわれる現代において、神との出会いを生きる真の意味を、十字架の聖ヨハネの思想、生涯の中に探ることができます。

十字架聖ヨハネを正しく理解することは、霊性を正しく理解することの基礎となっていくます。

フェデリコ・ルイス・サルバドル

1933 年スペイン、バレンシア生まれ。1950 年跣足カルメル修道会入会。

1957 年司祭叙階。ローマ・カルメル会国際神学大学テレジアヌム教授。

2018 年 10 月 27 日マドリードにて帰天。享年 85 歳

九里 彰

カイルメル修道会司祭。1981 年上智大学大学院哲学専攻、博士後期課程修了。1990 年カルメル会入会。1997 年司祭叙階。1999~2002 年スペイン留学。カルメル修道会 元日本地区総長代理。現在、金沢広坂修道院院長



愛と英知の道

——すべての人のための霊性神学——

ウィリアム・ジョンストン 著

九里 彰 監訳
岡島 禮子 三好 洋子 渡辺 愛子 共訳

西洋と東洋の神秘主義の伝統に通暁した著者が、21世紀というグローバル化し、「地球家族」となった現代世界のすべてのキリスト者に遺した霊的生活の道しるべ。「すべての人は、聖職位階に属している人も、あるいはそれによって牧されている人も、皆聖性へと召されている。『あなたが聖なる者となること、これが神の望みである』と使徒が言っているとおりである」（『教会憲章』39）。

本書は、十字架の聖ヨハネが16世紀に向けてなしたことを、21世紀に向けて行なおうとする、ささやかな試みです。言いかえると、その目的は、命の水を渴望する人たちへ、観想的な祈りを教えることです。筆者は、主にキリスト信者を念頭に置いて筆を進めますが、真理の探究において私どもと心を一つにしておられる方々にも、本書を勧めています。

- 第一部 キリスト教の伝統
 - 第1章 智恵（1）
 - 第2章 智恵（2）
 - 第3章 理性対神秘主義
 - 第4章 神秘主義と愛
 - 第5章 東方のキリスト教
 - 第6章 愛を通して生まれる英知
- 第二部 対話
 - 第7章 科学と神秘神学
 - 第8章 修徳主義とアジア
 - 第9章 神秘主義と根源的なキリスト
 - 第10章 英知と（空）
- 第三部 現代の神秘的な旅
 - 第11章 信仰の旅
 - 第12章 浄化の道
 - 第13章 暗夜
 - 第14章 愛のうちに（ある）
 - 第15章 花嫁と花婿
 - 第16章 一致
 - 第17章 英知
 - 第18章 活動
 - 第19章 社会活動の神秘主義



ウィリアム・ジョンストン William Johnston S.J. (1925-2010)

北アイルランドのベルファストに生まれる。

イエズス会に入会し、26歳で来日。

32歳で司祭に叙階され、以後、英語、英文学、宗教学、神学、宗教学の研究と普及に尽力。ベドロ・アルベ、トマス・マートン、ダライ・ラマ、永井隆、遠藤周作との出会いを通して、次々と著作を発表。現代に則した霊性探求の先駆者として、世界に広く知られている。85歳で帰天。

書籍案内



生きる意味

●キリスト教への問いかけ

清水正之・鶴岡賀雄・桑原直己・釘宮明美 編

A5判・312頁・2500円+税

ISBN978-4-87232-100-5

東日本大震災と原発事故によって喚起された「生きる意味」という愚直な問い。その答えを示すことこそが、「宗教」である。グローバル化に伴う経済格差、労働のあり方、宗教の役割など——危機にさらされている人間の救済の道を探る。

———目次———

- 序 「生きる意味への問いかけ」がなされる場をめぐって／鶴岡賀雄
- 1 東日本大震災と宗教／中下大樹
- 2 宗教と社会と自治体の災害時協力／稲場圭信
- 3 東日本大震災に思うこと／佐藤純一
- 4 脱原発の倫理／久保文彦
- 5 何のために働くのか／神谷秀樹
- 6 グローバル化する経済の中の人間／勝俣 誠
- 7 私たちの社会に希望はあるか？／宮台真司
- 8 関係の倫理学／清水正之
- 9 宗教が医療・医学に果たした役割、果たすことが期待されている役割／加藤 敏
- 10 V・フランクルのロゴセラピー／桑原直己
- 11 「神の子となる」——カルメルの霊性と共に／★九里 彰★
- 12 「おかげさま」の言語化と生き方による霊性化／中野東禅
- 13 エディット・シュタイン『十字架の学問』への道とその霊性／釘宮明美

オリエンス宗教研究所 TEL:03-3322-7601 FAX:03-3325-5322

ご注文は全国のキリスト教書店、オリエンスHP、FAX、ネット書店などへ



福者マリー＝ユジェーヌ神父に導かれて 十字架の聖ヨハネの ひかりの道をゆく

伊従 信子 編・訳

ISBN978-4-88216-372-5 C0195

定価540円(税込)

【聖母文庫】 287

第2版
好評発売中!

マリー＝ユジェーヌ神父が十字架の聖ヨハネ
を生き、体験し、確認した教えなのです。
ですから、十六世紀の十字架の聖ヨハネの
教えは現代の人々にも十分適応されます。
また、神の命を伝え、実践的手段を示して
聖性の最も高い段階へと導こうとする彼の
配慮が伝わってきます。([はじめに]より)



神と親しく生きる いのりの道

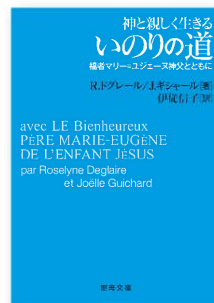
福者マリー＝ユジェーヌ神父とともに

R. ドブレール / J. ギシャル 著

伊従 信子 訳

ISBN978-4-88216-307-7 C0195 【聖母文庫】 246

定価540円(税込) 209頁



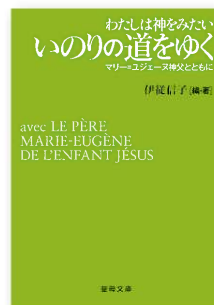
わたしは神をみたい いのりの道をゆく

マリー＝ユジェーヌ神父とともに

伊従 信子 編・著

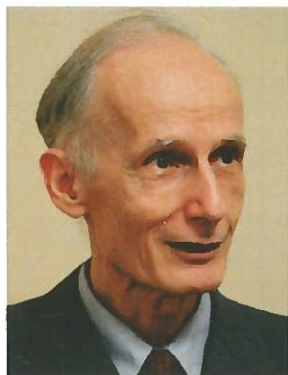
ISBN978-4-88216-339-8 C0195 【聖母文庫】 268

定価648円(税込) 281頁



ご注文・お問い合わせ先

聖母の騎士社 ☎850-0012 長崎市本河内2-2-1
TEL.095-824-2080 FAX.095-823-5340



クラウス・リーゼンフーバー小著作集

(全五巻) 四六版・434頁～628頁

各巻 本体 3,800～5,000 円+税

著者は日本における中世哲学研究を牽引し、広汎にわたるキリスト教思想史の著述や編集・出版を手がけてきた。宗教家としても、キリスト教信者のみならず信仰に初めて出会う一般社会人と広く向き合い、講座や黙想会などを開いてキリスト教の精神と実践、信仰における超越との関わりを伝えている。人間の自己理解から出発し、聖書と哲学的な理解とを構築して、キリスト教信仰と霊性を現代人にとって生き生きとした形で展開している。講義、執筆活動をとおして西洋古代・中世さらに現代哲学思想をわかりやすく説く。この著作集は40余年の著述活動による150余の小論考からなっており、霊的な信仰理解と人間の経験とを結びつけて互いに支え合うものとして示そうとするものである。

人生の意義の解明と存在への問い。人生をめぐる哲学的・思想的・人間論的な諸観点のもとで、聖書に基づいて第一根源である神を中心に展開する。

		ISBN
第1巻	I 超越体験 一宗教論 宗教の人間論的基礎付けを「意義への問い」という観点から考察した宗教哲学論文集。宗教的理解と経験がキリスト教的精神に基づいて絡み合い、人間の心を考察して全体の根源的な起源へ向ける。全11作、434p	定価(本体+税) 9784862852151 3,800 円+税
第2巻	II 真理と神秘 一聖書の黙想 日常生活を貫いて人間とかかわる絶対的神秘を、聖書を紐解きつつ多面的な観点から浮き彫りにする。超越との関係を求める人に向けて、宗教的経験を解明する。全35作、544p	978-4862852175 4,600 円+税
第3巻	III 信仰と幸い 一キリスト教の本質 主の祈り、信条の命題に沿って信仰の全体像を解説。「山上の説教」とおして人生における艱難辛苦にも焦点を合わせる。十字を切ることの意味など、聖霊の神学と霊性から信仰生活の深みを照らす。全38作、628p	9784862852205 5,000 円+税
第4巻	IV 思惟の歴史 一哲学・神学的小論 古代から中世のキリスト教思想史の考察の上に立脚し、現代における信仰をめぐる根本的な問いを洞察する。人間と神理解の可能性を新たに広げて信仰生活の深みに掘下げる。全41作、448p	9784862852212 4,000 円+税
第5巻	V 自己の解明 一根源への問いと坐禅による実践 信仰との関わりの薄い現代人に向け、自己への問いから発した人生の意義と超越への方向付けを見出す実践的な道筋を示唆する。「今」を中心とする存在論・時間論を展開した最終講義「時間です!」収録。全35作、470p	9784862852229 4,200 円+税

●リーゼンフーバー、クラウス [Riesenhuber, Klaus]

1938年ドイツ生まれ。1958年イエズス会入会。1967年ミュンヘン大学哲学博士。同年来日。1969年上智大学文学部哲学科専任講師。1971年東京で司祭叙階。1974年上智大学中世思想研究所所長(～2004)。1981年上智大学教授。1989年上智大学神学博士。国公立大学で客員・非常勤講師。放送大学客員教授。2009年上智大学名誉教授。現在は哲学的人間論および宗教哲学などの講座を開講。

知 泉 書 館

〒113-0033 東京都文京区本郷1-13-2 TEL: 03-3814-6161 FAX: 03-3814-6166

<http://www.chisen.co.jp>

カルメル会の企画案内



カルメル会の標語

Zelo zelatus sum pro Domino Deo exercituum

私は万軍の神、主に情熱を傾けて仕えてきました（列王記上 19 : 10）



東京 上野毛 霊性センター

黙想企画 **上野毛 聖テレジア修道院（黙想）**
(2025年5月～)

- ・聖書深読黙想会(土曜日 18時～日曜日 16時) カルメル会士

2025 年

5 月 24 日(土) ～ 25 日(日)

7 月 5 日(土) ～ 6 日(日)

9 月 6 日(土) ～ 7 日(日)

11 月 29 日(土) ～ 30 日(日)

2026 年

1 月 17 日(土) ～ 18 日(日)

3 月 7 日(土) ～ 8 日(日)

- ・奉獻生活者のための黙想会 (初日 18時～最終日朝食) カルメル会士

2025 年 8 月 16 日(土) ～ 25 日(月)

2025 年 12 月 26 日(金) ～ 2026 年 1 月 4 日(日)

★教会の祈り（時課の祈り）を軸とした 黙想の場を提供いたします。

【ご利用に際して】

- ・介助やサポートなしで生活できる方。
- ・上記に抵触する方はお問合せ下さい。
- ・個人の場合はご家族・ご親族に、奉獻生活者の場合は長上にお申込者の状況をお伺いした上で、利用をご遠慮願う場合もありますのでご了承下さい。
- ・部屋は2・3階でエレベーターはありません。階段をサポートなしに
1人で昇り降りできない方はご利用いただけません。



- * 日程、指導司祭は変更される可能性もあります。お申込みの際には、ホームページ（<http://www.carmel-monastery.jp>）なども合わせてご覧下さい。
- * こちらに掲載されている以外の日時にもご利用可能です（グループ、個人いずれも）。お気軽にお問い合わせください。
- * 間違いを避けるため、お問い合わせは FAX・はがき・Eメール等、文書でお送り頂きますと幸いです。

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛 2-14-25

聖テレジア修道院(黙想)

Tel:03-5706-7355 Fax:03-3704-1789

Eメール : mokusou_kmng@carmel-monastery.jp

ホームページ : <http://www.carmel-monastery.jp>



宇治カルメル会 黙想会案内

(2025 年 5 月～2026 年 3 月)

【一般のための黙想】1泊2日(土曜 午後5時～日曜午後4時) 中川博道神父

5:30 サルヴェ・レジーナ(修道院)から開始

~~6/21—22~~ キャンセル待ち 7/19—20 9/20—21 12/6—7

2026 年 1/31—2/1 3/7—8

【聖書深読】(土曜午前10時～午後4時) 中川博道神父

7/5 9/13 11/29

2026 年 1/17 3/14

【水曜黙想会】(午前10時～午後4時) 中川博道神父

5/28 7/23 9/17 12/17

2026 年 1/21 3/11

【カルメルの霊性】(土日) 午後5時から 中川博道神父

~~幼きテレーズ—9/27—28~~ キャンセル待ち

アヴィラのテレジア 10/18—19

~~十字架のヨハネ—12/13—14~~ キャンセル待ち

【ゴールデンウィーク黙想会】 中川博道神父

~~5/2(金) 夕食～5/6(火) 昼まで~~

全日通しでも途中からでも自由参加 締切済み

【祈りの学校】 総合編(木) 午前10時から 松田浩一神父

変更 ~~5/8→~~5/22 6/5 7/3 9/18 10/9 変更 ~~11/13→~~11/20 12/11

【カトリック信仰生活の学び舎】

《カテキズムに基づく》(火) 午前10時から 松田浩一神父

5/13 6/24 7/22 9/2 10/7 11/11 12/2

【奉献生活者の黙想】(午後5時～午前9時) 一般参加可

8月1日(金) 夕食～10日(日) 朝食 和田誠神父

12月27日(土) 夕食～1月5日(月) 朝食 中川博道神父

2026 年

3月18日(水) 夕食～27日(金) 朝食 中川博道神父

ーその他皆さまが企画なさったグループ黙想会、個人黙想も歓迎いたしますー

☆お申し込みは電話でも受け付けておりますが、できるだけFAX、はがき、Eメールでお名前と連絡先を御記入の上、お申込み下さい。お電話はなるべく午前9時～午後5時の間にお願い致します。受付が休みの場合はその場ですぐにお返事できませんので、お手数でも後日改めてお問い合わせ下さる様にお願い致します。

聖書は各部屋に備えております。またタオル類も準備してありますが、各自専用分を持参してもかまいません。

浴室にボディソープ・シャンプー等はございますが
浴衣やブラシ・歯ブラシ等はありませんので、各自でお持ちください。



〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12
宇治カルメル会 聖テレジア修道院 (黙想)
Tel 0774-32-7016 Fax 0774-32-7457
E-Mail: teresiauji@mountain.ocn.ne.jp
<http://www.carmeluji.sakura.ne.jp/>

旧約聖書から学ぶキリスト教霊性

—キリストの十字架の恵みをより味わうために—

2025年5月17日（14：30～16：30）

エステル記（ヘブライ語）のメッセージとギリシャ語エステル記

その後の日程：2025年6月21日、7月19日（土）、9月20日（土）

持ち物：必ず聖書（旧約＋新約）をご持参ください。

場所：跣足カルメル修道会日比野修道院（カトリック日比野教会）

参加費無料。

担当：志村武神父（跣足カルメル修道会）

問合せ：日比野修道院（052-671-1003）

静修の集い（名古屋日比野修道院）

2025年6月28日（土）10：00～15：00

講話担当司祭：九里彰神父

テーマ：暗夜と希望 —十字架の聖ヨハネの霊性—

【スケジュール】

10：00～10：20 はじめの祈り

10：30～11：30 講話①

11：30～12：00 ご聖体顕示、念祷

12：00～13：00 昼食（各自持参）

13：00～14：00 講話②、

14：10～ミサ、その後茶話会、解散（15：00頃）

持ち物：昼食（各自）

参加費：無料（自由献金をお願いいたします）

以降の日程：2025年9月27日（志村武神父）

諸所の企画案内



真命山 霊性交流センター
サダナ瞑想
慈しみ深き会

※注)

諸所の企画記事は集約・編集しています。
記載には注意を期しておりますが、
詳細は各問い合わせにご照会下さい。
よろしくお願い致します。

テーマ「希望の巡礼者」

「主の恵みの年を告げ知らせるために」

(ルカ4章19節)

毎月第2木曜日(10:00～15:00)

予約は前日の16:00まで

- 1月 9日 「聖年」とは－新しい始まりの希望：聖年を迎える
- 2月13日 「希望はわたしたちを欺くことはありません」－教皇フランシスコの呼びかけ
- 3月13日 「希望の巡礼者」－イエス様とともに歩む
- 4月10日 「希望」と信仰－希望はイエスのご復活に基づく信仰の実り
- 5月 8日 「希望」と愛－希望は神の愛に基づいています
- 6月12日 「希望」と愛の業－希望は愛の業によって現れる
- 7月10日 「希望」と祈り－希望は祈りによって養われる
- 8月 休み
- 9月11日 「希望」と平和－主は与えてくださる平和における希望
- 10月 9日 「希望」と福音宣教－世界に希望を届ける、教会の使命
- 11月13日 「希望」と神の国－神の国の到来を待ち望む
- 12月11日 「希望」と喜び－神の訪れはもたらす贈り物。



・個人またはグループでの黙想会
研修会も歓迎いたします(要予約)

申込先

真命山 諸宗教対話センター

865-0133 熊本県玉名郡和水町蜻浦

1391-7

e-mail: shinmeizan@gmail.com

www.shinmeizan.com

Tel:0968-85-3100

Fax:0968-85-3186

サダナ瞑想 ～東洋の瞑想とキリスト者の祈り～

プログラムの詳細、開催状況、補充情報などはホームページをご覧ください。

<http://sadhana.jp/>

申込み受付・・開始日の 8 日前まで

コース	日 時	指導	開催場所	申込み
入門 B	6/8(日) 9 : 30-17 : 00	同上	シャルトル聖パウロ会 九段修道院	来間(くるま)裕美子※ TEL : 090-5325-2518 *ショートメールは避けてください sadhana79878@gmail.com
名古屋入門 B	6/14(土) 9 : 30-17 : 00		聖霊会八事修道院 ミッションセンター (名古屋市昭和区)	攪上(かくあげ) 暁子 TEL : 090-7108-7410 ngosdn@gmail.com
サダナ II	6/18(水)17:30- 22(日)16 : 00	同上	小金井聖霊修道院 (小金井市桜町)	来間(くるま)裕美子※
入門 C	6/29(日) 9 : 30-17 : 00	同上	都内施設	来間(くるま)裕美子※
名古屋入門 C	7/5(土) 9 : 30-17 : 00	同上	聖霊会八事修道院 ミッションセンター (名古屋市昭和区)	攪上(かくあげ) 暁子
フォローアップ	7/13 (日) 9 : 30-17 : 00	同上	シャルトル聖パウロ会 九段修道院	来間(くるま)裕美子※
宝塚 フォローアップ	7/18(金)17 : 30- 19(土)16 : 00	同上	女子御受難会修道院 (宝塚市売布山手)	西村 優子 TEL : 090-8480-2661
宝塚 I & アドバンス	7/20(日)9 : 00- 21 (月祝) 16 : 00			西村不在時は 野 真理子 TEL : 090-6758-3369

※ショートメールは避けてください。申し込まれると確認メールが返信されます。確認メールが届かない場合は 090-5325-2518 (来間) までお問い合わせください。

※不在の場合は、渡辺由子/Tel & Fax : 042-325-7554

- 入門 C への参加=入門 A または入門 B を終えていること。
- フォローアップおよびリピーターへの参加=サダナ I を終えていること。



祈りの集い

～沈黙の内に神を求めて～

今年は1月1日に、能登半島地震が起き、輪島市、珠洲市など、能登地方の人々は、家の倒壊、道路の地割れなど、甚大な被害を受けました。233名の方が亡くなられ、1175人が怪我をされ、1万5309人が今なお避難生活を余儀なくされています(1月23日現在)。一日も早く平穏な生活に戻れるよう、心からお祈りしたいと思います。

今年度の「祈りの集い」の前半では、「祈りについての講話」をいたします。いままで、アビラの聖テレジアや十字架の聖ヨハネ、モーリス・ズンデルや聖書などをテキストとして使用してまいりましたが、今回は、ウィリアム・ジョンストン神父の著作『愛と英知の道 ――すべての人のための霊性神学』(2017年、サンパウロ社)を少しずつ読みながら、祈りについての理解を深めて行きたいと思います。

後半では、すべての存在(無機物から植物や動物や人間)を支えておられる、憐れみ深い神の前にありのままの自分を置き、祈りの内に神との交わりを深め、神の声に静かに耳を傾けて行きましょう。

場所: イグナチオ教会岐部ホール 404号室

(JR・地下鉄丸ノ内線・南北線四ツ谷駅徒歩1分)

時間: 13:30から

次回の予定: 5月15日

「第5章 東方のキリスト教」の前半(125頁から)

2025年度スケジュール

1月16日、3月13日、5月15日、7月10日、9月18日、11月20日

主催: **慈しみ深き会**

指導: ^{くのり}九里 彰神父(カルメル修道会)

* 参加費無料(献金歓迎)

* 問い合わせ先: 042-473-6287 篠原(11:00~20:00)

『靈性センターニュース』

* 郵送終了のお知らせ *

『カルメル靈性センターニュース』はWeb掲載移行に伴い、
冊子の発行を終了しております。

これまで月刊誌として郵送を行って参りましたが、今後は
Webにてご覧下さいます様、お願い致します。

宇治カルメル会修道院ホームページ

<http://www.carmeluji.sakura.ne.jp/>

「カルメル靈性センターニュース」(PDF)をクリック
過去のバックナンバーも揃って掲載しております。
どうぞご利用下さい。

また引き続きご献金もお願いしております。

郵便番号口座： 00910-6-333184
加入者名： カルメル靈性センターニュース事務局

何かご質問等があれば、事務局の方にご連絡ください。

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12
カルメル会宇治修道院 「靈性センターニュース事務局」
Tel:0774-32-7456
Fax:0774-32-7457
reisei@carmel-monastery.jp

男子跣足カルメル修道会のホームページ

<http://www.carmel-monastery.jp>

Google:「カルメル会」で検索できます



男子跣足カルメル修道会
Order of Discalced Carmelites

靈性センターニュース掲載の情報も載っています

